



# 議会 トピックス TOPICS

## 議会報告会を開催!

村議会を傍聴できない住民に、10月3日から15日まで6会場8自治会(小岩井・大釜南・篠木・鶴飼南・元村西・巣子・南巣子・長根)において議員が審議内容や一般質問の概要等を説明する議会報告会を開催し、報告後に意見交換を行いました。

### ■議会のうごき

平成22年8月5日～11月4日(抜粋)

- 8月 7 麗沢会第2回夏祭り(正副議長)
- 8 鶴飼南自治会夏祭り(議長)
- 14 姥屋敷自治会夏祭り・敬老会・拓魂祭(議長)
- 17 県に対しての市町村要望会(正副議長)
- 18 聖石・滝沢環境組合基本協定書調印式(議長)
- 20 滝沢村戦没者追悼式
- 21 滝沢村PTA連絡協議会研修会(議長)
- 22 大沢まちづくり体験ツアー(副議長)
- 23 議会運営委員会・全員協議会
- 24 岩手郡町村議会議長会県内実行運動(議長)
- 26～27 中央情勢研修会並びに岩手郡町村議会議長会中央実行運動(議長)
- 30 知事を囲む懇談会(議長)
  
- 9月 1 盛岡横手線道路整備促進期同盟会通常総会(議長)
- 4 いわて夏まつり in 小岩井(議長)
- 11 滝沢村福祉ボランティアまつり(議長)
- 13 (財)滝沢村体育協会表彰式、国体選手激励会
- 15 滝沢村小学校陸上競技記録会(議長)
- 21 特別養護老人ホームれいたく苑敬老会(議長)
- 25 東北方面隊音楽フェスティバル(議長)
- 26 東北方面隊創隊50周年記念行事(議長)
- 26 滝沢山車まつり(議長)
- 28 岩手郡町村議会議長会政務調査会・臨時総会(議長)
- 29～1 岩手郡町村議会議長会中央実行運動・県外研修(議長)
  
- 10月 2 滝沢村商工会創立30周年記念式典
- 9 たぎざわスポーツフェスティバル2010(議長)
- 14～15 全国基地協議会東北部会定期総会(議長)

- 16 滝沢村産業まつり(議長)
- 22 滝沢村老人クラブ連合会演芸大会(議長)
- 22 産業建設常任委員会
- 24 長根自治会創立40周年記念式典(議長)
- 27～29 全国基地協議会正副会長・監事・相談役会(議長)
- 28 岩手県町村議会議員シンポジウム
- 30 一本木小学校創立110周年記念式典(議長)
  
- 11月 3 滝沢村勢振興功労者表彰式
- 4 全国基地協議会理事会(議長)

#### 議長交際費とは

議長が議会の対外的活動をするために要する経費です。また、冠婚葬祭、活動行事関係などがあります。※詳細は、村ホームページに掲載しております。

#### ■議長交際費

内訳/8月～10月

月	冠婚葬祭		お祝、会費	
8	2件	25,000円	7件	36,000円
9	4件	50,000円	6件	26,000円
10	0件	0円	3件	11,000円
22年度合計	8件	85,000円	35件	164,000円

# 議会に ズバリ一言!

今回は、9月議会を「政策形成能力」の一環として傍聴された岩手看護短期大学地域看護学専攻の学生みなさんに、お寄せいただいた感想をご紹介します!!

村職員の方の答弁で「住民の意見は苦情ではなく情報源と捉えている」と言っていました。その答弁に、とても感銘を受けました。どうしても、自らにとって否定的な意見等は受け入れ難い印象があります。しかし情報源と捉えることにより、同じ事でも物事を発展的にみていくことができるように思いました。村の職員の方々に親近感を抱くと共に、私もそのような考え方で物事をとらえていきたいと思えます。議会の傍聴は初めてでしたが、とても身近に感じられました。

普段私たちが生活をしていて、起きると除雪がされていて特に何も感じていなかったんですが、議会で討論を聞いて住民の声も反映しながら色々と計画されているのだなあと感じました。独居老人宅の除雪の話も出ていましたが、私たちが独居宅に家庭訪問に行っていますので、こういう政策を村では取り組んでいるということを知ることができて良かったです。

地域住民の意見がとてもよく反映されている場だと感じた。地域住民の目線に立って考え議会を進めていこうとするのが伝わってきた。しかし、地域住民は役場に言えばなんとかなると思いき、すねをかじりがちであるが、まず地域住民同士が意見を活発に出し合い、交流を深めていくことが大事なのではないかと思う。それをサポートするのが行政というのを改めて感じ、さらなる滝沢村の活性化につながると期待したい。

地域住民の声がいかにか大事かということが感じられた議会であった。

初めて議会の傍聴し、自分達の知らないところで日々このような議会が行われていることに改めて気付かされた。住民の意見はどのように行政に届いているのか以前はまいちわからなかったが、今回議会の傍聴し、住民の声が届けられていることを知り、行政の対応の仕方を学んだ。

一人の発言に皆耳を傾け、真剣に考えている様子が見られた。傍聴席があることを大いに活かし、住民の方々が傍聴し、自分達の意見がどのように議論されているかに興味を持ってもらいたい。そのことでより活力ある地域づくりができると思う。

議員の方々の質問に対して、適切な答が返ってきていると思いました。実際、村民の声もまじえながらの答弁だったので、より住民の方々に密着した事業展開だったと思います。除雪において地域のコミュニティの力もかりながら、共に助け合い、自分たちの生活をよりよいものにしていく方向性が見えました。個人だけでなく地域のコミュニティを単位としての働きかけも重要な役割をになっているのだと感じました。このように議会で決まってくる場面を傍聴させていただき、学びを深めることができました。

議員の方や村長などを交えた意見交換により滝沢村全体のニーズに答えようとする姿がとても印象的でした。村民一人一人の言葉を議会に届けることで議会が動き、問題解決へと一歩進めるのだと思います。地域の特性として、滝沢村は冬場に雪が多く降ります。その点を取り上げ障害者や病弱者・高齢者等の雪かきをする取り組みは重要だと思います。私も滝沢村民の一人として村の問題点にも目を向けることで村の発展に協力していきたいと思いました。